

2021年6月22日
九州電力株式会社

「森林資源を活用したJ-クレジット創出・活用事業」を開始します
— 福岡県久山町にて事業の実行性・有効性を実証 —

九電グループは、本年4月に「九電グループ カーボンニュートラルビジョン 2050」を策定し、エネルギー需給の両面からカーボンニュートラルの実現に挑戦することを宣言しました。
(2021年4月28日お知らせ済み)

このビジョンの具体化に向けた取組みの一つとして、「森林資源を活用したJ-クレジット*創出・活用事業」(以下、本事業)を開始します。

※ J-クレジット：省エネ設備導入や再エネ利用によるCO₂排出削減量、適切な森林管理によるCO₂吸収増加量をクレジットとして国が認証する制度

本事業により、自治体等が所有する森林からのJ-クレジット創出の支援と、創出したJ-クレジットを活用して、CO₂排出ゼロが困難な排出源のカーボンオフセットに取り組み、九州のカーボンニュートラル実現への貢献を目指していきます。また、森林管理における様々な課題への総合的なソリューションも併せてご提案していきます。

まずは、本事業の実行性・有効性を確認するため、福岡県久山町(以下、久山町)と当社、及び九州大学都市研究センターとの間で締結した「持続可能なまちづくりに関する包括提携協定」(2018年12月19日お知らせ済み)に基づき、久山町の町有林で本事業を実施します。

今後、久山町での実証結果を基に、本事業の手法を確立し、他地域で展開するとともに、森林由来以外におけるカーボンオフセット手法の確立についても検討してまいります。

また、久山町は、九電グループとともに本事業に取り組むことで、町の豊かな自然環境の維持に活かしていく方針です。

九電グループは、これからも、九州から日本の脱炭素をリードする企業グループとして、カーボンニュートラルの実現を目指してまいります。

以 上